

「愛でつながる宝探しプラン」

あんばらんす：浮田萌 菅谷量輝 山田俊太

大学生観光まちづくりコンテストに参加し、「富士河口湖町および笛吹市の観光を通じた活性化」について研究した。最終的に私たちは、現在若いカップルに人気のある「宝探し」を活用し、20代のカップル・新婚夫婦をターゲットとした「愛でつながる宝探しプラン」を本コンテストで提案した。

このプランの内容は、課されたミッションを恋人と2人でクリアしていき、2人の手紙が入った宝箱を見つけ出すというものである。ミッションの内容は「本栖湖でカヌーに乗って写真を撮れ」や「笛吹川の花火大会へ行け」などがあり、写真と共にミッションの完了を告げるメールを送信すると、暗証番号が返信される。最後は石和温泉の旅館へ行き、集めた3つの暗証番号を用いて宝箱を解錠する。そして互いの手紙を読み、宿泊するというプランになっている。プラン実施後には、ミッションの際に撮影した写真がラベルとして貼られた笛吹ワインが自宅に送られるという特典もある。

このプランを提案した理由は、次の3つの現状があったためである。第1に、富士河口湖町と笛吹市の観光における課題として、「両地域の資源をつなげること」と「宿泊客を増加させること」が挙げられるためである。これは本コンテストの説明会にて、「両地域の魅力ある資源をつなげたい」ということや「宿泊客が減少傾向にある」ということが言われていたためである。第2に、両地域に20代のカップル・新婚夫婦のニーズがあるにもかかわらず、彼ら呼び込めていないためである。両地域の資源を調べてみると石和温泉や広大な自然、笛吹ワインなどが挙げられるが、これらの資源は20代のカップル・新婚夫婦のニーズと一致していた。しかし、現地でカウント調査を実施したところ、20代の観光客の割合は両地域とも全体の約10%しかいないことが判明した。第3に、両地域に20代のカップル・新婚夫婦の興味を引く仕組みがないと考えたためである。そこで彼らが興味を引く要素を調べたところ、「恋人との絆を深める旅」が挙げられた。

以上3つのことを踏まえ、現在若いカップルに人気のある「宝探し」を活用し、「愛でつながる宝探しプラン」を提案した。このプランによって「両地域の資源をつなげること」はミッションで地域資源を巡らせることにより、「宿泊客を増加させること」は宿泊プランであることによりそれぞれ解決できると考えた。また、20代のカップル・新婚夫婦が興味を示す「恋人との絆を深める旅」を、2人でミッションを遂行していく過程や互いの手紙を読むことに置き換えて取り入れた。結果、20代の観光客の増加を見込めると考える。

富士河口湖町・笛吹市に将来の旅行市場を支える若者の旅行者を呼び込むことができれば、今後観光地として発展し、地域の活性化にもつながるだろう。